

# 政策分野3

## 【経済・産業】

### 地域経済を力強くリードするまちづくり

- 3-1 雇用の創出や新技術の導入により地域経済を  
発展させる (地域経済)
- 3-2 世界に誇れる技術を持った中小企業を育  
てる (工業)
- 3-3 商店街や個店を支援し、地域のにぎわいを  
生み出す (商業)
- 3-4 地域の特色を活かした農林業を進める  
(農業・林業)
- 3-5 人と地域の魅力を伝える観光施策を進める  
(観光)

## 雇用の創出や新技術の導入により 地域経済を発展させる（地域経済）

### 基本的な施策の方向性

少子高齢化に起因する生産年齢人口<sup>1</sup>の減少をはじめ、エネルギー政策の転換<sup>2</sup>、ICTの進歩など、私たちをとりまく環境の変化は、雇用・労働、生産体制、流通といった地域の経済活動だけにとどまらず、市民生活にも大きな影響をもたらしています。

こうした変化に的確に対応しつつ生活の質を高め、新たなライフスタイルを獲得することが今の社会の潮流となっています。

これを好機と捉え、新分野への参入やICTの活用などを通して、新たな雇道を創出するとともに、地元での就職やU・I・Jターン<sup>3</sup>を促すことで、地域経済の持続的な発展を目指します。

### 施策と内容

#### 1. 活躍する人を育て、応援します

ICTに代表される科学技術の一層の進歩により、今後、市民の生活様式はますます多様化すると考えられます。また、高齢化もさらに進行すると考えられることから、増え続ける高齢者がいつまでも地域で暮らしていくためにも、生活の質の確保がますます重要となります。

このことは、将来の暮らしを下支えするための多種多様な雇用創出の可能性を示すものであり、これに積極的に取り組む人材を多角的に支援していきます。

##### 主要な取り組みの事例

- 事業者・起業希望者への支援の充実とニーズに合ったセミナー・交流会の企画・開催
- 子育て世代への支援を通じた女性の就業率向上
- クラウドソーシング<sup>4</sup>をはじめ、場所と時間にとわれない新しい働き方の提案
- 若者のU・I・Jターン就職の促進
- 若者の自立を支援するためのセミナーなどの開催
- 高齢者に就労の場を提供するシルバー人材センターの支援

めざす価値

##### 産業支援センターの個別相談における満足度

H28(2016)	H33(2021)
77.6%	82.6%

#### 2. 経済活動の輪を広げていきます

地域の経済活動は、市民一人ひとりの個から、企業・事業者、団体などの組織体まで様々な主体によって行われています。

多くの主体がつながり、連携することで、経済活動の輪が拡大し、地域経済はより活性化されます。

##### 主要な取組の事例

- 産学の連携による、当市固有の資源を活かした魅力ある商品・サービス開発への支援
- 市内商業高校、工業高校などの生徒の自由で柔軟な発想の活用
- 市民等が、自らつくり上げ地域を盛り上げるイベントの支援

めざす価値

##### 観光振興活動支援件数（年間）

H28(2016)	H33(2021)
4件	6件

#### 用語解説

- 1 【生産年齢人口】年齢別人口のうち労働力の中核をなす15歳以上65歳未満の人口層
- 2 【エネルギー政策の転換】エネルギー需要の伸張に応じ、いかに供給するかという量的充足の方策から、地球温暖化の進行や東日本大震災を契機として、どのような社会づくりをするのかという視点から、どうエネルギーを選択するかという政策の論点
- 3 【U・I・Jターン】大都市圏の居住者が地方に移住する動きの総称（Uターン、Iターン、Jターン）
- 4 【クラウドソーシング】不特定の人（crowd=群衆）に業務委託（sourcing）するという意味の造語で、ICTを活用して必要な時に必要な人材を調達する仕組みのこと

## この柱のみんなだめぞう値

	H28(2016)	H33(2021)
①企業立地件数	① 12件	① 22件
②企業立地に伴う新規雇用者数 (①、②ともH23年度からの累計)	② 265人	② 485人

## 政策分野3 経済・産業



▲島田ICTコンソーシアム講演会

### 3. ICTの活用で、産業の活性化を推進します

ICTの発達により、企業の生産活動や流通システムの効率化など、多くのメリットが生まれています。これを契機に、IoT（モノのインターネット）やAI（人工知能）など、新たなICTを効果的に活用し、産業の活性化を推進します。

#### 主要な取り組みの事例

- 各産業が抱える課題に対するICTの効果的活用への支援
- IoTやAI等を活用した取り組みへの支援

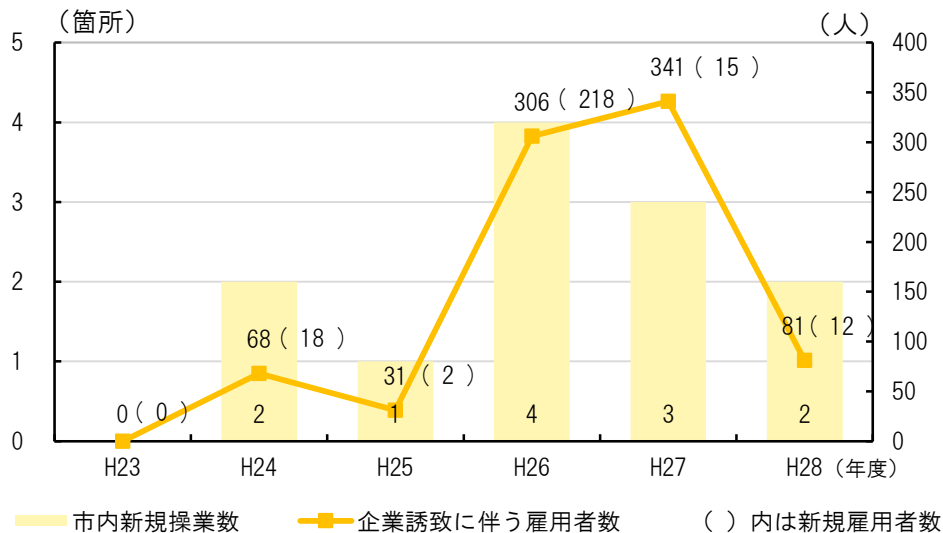
めざす  
値

#### ICTを活用した個別プロジェクト 実施件数（H30年度からの累計）

H28(2016)	H33(2021)
—	4件

## 関連データ

### ■企業誘致実績数及び雇用者数の推移



## 世界に誇れる技術を持った 中小企業を育てる（工業）

### 基本的な施策の方向性

ここに暮らす人が豊かな生活を維持するには、雇用の確保と地域内経済の好循環が必要です。そのためには、このまちの経済活動の中心を担う、高い技術力をもった中小企業のさらなる成長が求められます。

市内企業の大半を占める中小企業・小規模企業の健全な発展を支援するため、行政・事業者・関係団体等がそれぞれの役割を果たすことが重要です。

### 施策と内容

#### 1. 中小企業をサポートし、経営基盤を強化します

市民生活の豊かさを支え、都市の活力となる雇用を生み出すためにも、地域産業を支える中小企業が、強固な経営基盤と力強い競争力を持たなくてはなりません。そのための支援をあらゆる角度から行っていきます。

##### 主要な取り組みの事例

- 中小企業の経営基盤を強固なものとする設備投資や経営改善のサポート
- 新産業分野への進出やイノベーション（技術革新）、国内外への販路開拓、新規の創業・起業を目指す事業者に対する多角的な支援

めざす価値

販路拡大支援事業による成約件数  
(年間)

H28(2016)  
180件

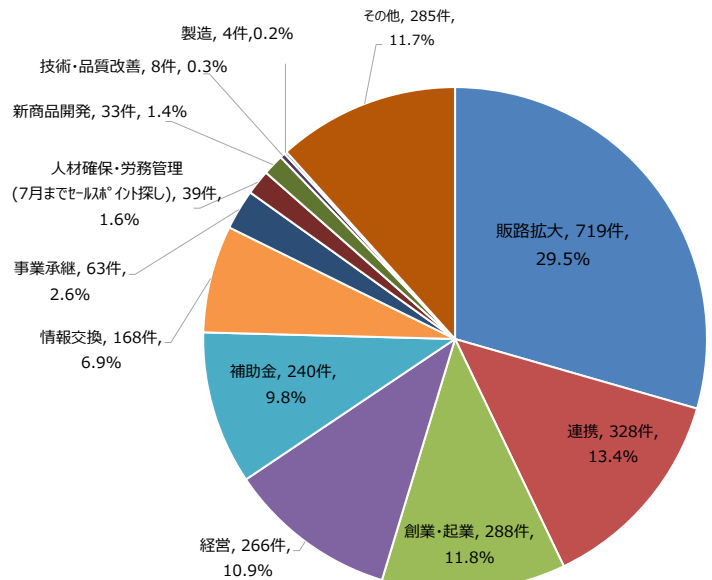
H33(2021)  
200件



▲島田市産業支援センター「おびサポ」

### 関連データ

#### ■島田市産業支援センター内容別相談割合 (平成28年度)



# 政策分野3 経済・産業

## この柱のみんなだめぞう値

設備投資等支援による  
目標効果達成企業数  
(年間)

H28(2016)  
12件

H33(2021)  
15件



▲内陸フロンティア推進区域上空写真

## 2. 付加価値の高い地域産業を創出します

新東名高速道路島田金谷インターチェンジ周辺をはじめ、高い交通結節機能を活かした物流拠点や生産拠点を形成し、当市の恵まれたアクセス性と地域資源からもたらされる経済効果を、市内全域へと波及させていきます。

### 主要な取り組みの事例

- 企業ニーズに合致する立地環境を整えるための成長産業分野の動向等の幅広い情報収集
- 6次産業<sup>1</sup>など次世代の成長産業<sup>2</sup>を見据えた企業誘致
- 「内陸フロンティア推進区域<sup>3</sup>」をはじめとする工業用地の開発と周辺の基盤整備

めぞう値

内陸フロンティア推進区域  
成長産業企業立地数  
(H30年度からの累計)

H28(2016)  
—

H33(2021)  
2件

### 用語解説

1 【6次産業】農山漁村の活性化のため、地域の第1次産業とこれに関連する第2次、第3次産業（加工・販売等）にかかる事業の融合した産業  
 2 【成長産業】主に農林水産業の生産・加工・販売の一体化による6次産業、食品、医療品、医療機器、環境関連等の産業  
 3 【内陸フロンティア推進区域】防災・減災と地域成長を両立させた魅力ある地域づくりを実現する「内陸のフロンティアを拓く取組」の静岡県全域への拡大に向け、市町の取り組みや事業の具体化強化のため、市町の申請に基づき県知事が指定する区域のこと。島田市では、新東名島田金谷インターチェンジ周辺が指定されている。

# 商店街や個店を支援し、地域のにぎわいを生み出す（商業）

## 基本的な施策の方向性

人口減少を伴う少子高齢化の進行は、商業活動にも大きな影響を及ぼしています。店舗経営者の高齢化が進み、個店の総数は減少の一途を辿っています。これに対応するため、後継者の確保や新規参入者の育成、経営者の意欲向上などが求められています。まちのにぎわいを取り戻し、地域経済を好転させるため、中心市街地におけるリノベーション<sup>1</sup>支援をはじめとする各種支援制度の実施と同時に、市内各所に存在するにぎわいづくりの拠点となり得る集客施設等を最大限活用しながら、商店街の再生を図っていきます。併せて、商業振興の中核的担い手となる人材を育成することで、個々の事業者だけでなく、商店街全体の意欲を高めていきます。さらに、買い物難民対策として、日常の生活必需品を提供する仕組みづくりを進めていきます。

## 施策と内容

### 1. 中心市街地のにぎわいづくりを進めます

「中心市街地活性化基本計画」に基づく振興策を、商店街や地域住民、関係団体、市内事業者等と連携して実施するとともに、おび通りなどをはじめとする賑わい創出拠点で開催される催事等を活用し、中心市街地のにぎわいづくりにつなげていきます。

#### 主要な取り組みの事例

- 賑わい創出拠点を活用した多彩なイベントの開催による中心市街地のにぎわいづくり
- リノベーション支援など、既存物件の利用価値を高める取り組みの推進

めざまし値

空き店舗改善数  
(H30年度からの累計)



### 2. 地域に密着した商業サービスを展開します

地理的条件により買い物が不便な地域や高齢化、核家族化が進み移動が困難となった人たちを対象に、生活必需品を提供できる仕組みを構築していきます。

#### 主要な取り組みの事例

- 買い物弱者に対する移動販売や訪問販売などの買い物環境の整備

めざまし値

買い物弱者対策 買い物事業参入者数  
(H30年度からの累計)



### 用語解説

1【リノベーション】既存の建物を改修し、用途や機能を変更して性能を向上させたり付加価値を与えたりすること



## この柱のみんなだめぞそう値

中心市街地（本通二丁目  
交差点）の歩行者数

H28(2016) 2,008人/日

H33(2021) 2,200人/日

## 政策分野3 経済・産業



▲しまだ元気市



▲島田の逸品カタログ

### 3. チャレンジする店主を支援します

「島田市産業支援センター」をはじめとする産業支援機関等が実施する事業を通して、地域の核となる意欲ある店主や起業を目指すチャレンジャー等の人材の育成を図り、多様で活力ある商業振興につなげます。

#### 主要な取り組みの事例

- 「島田市産業支援センター」で実施する相談の質の向上と実効性の高いセミナーや交流会の企画・開催
- 「島田の逸品<sup>2</sup>」等の販路開拓支援
- 商業者団体などが実施する商店街のにぎわい創出事業への支援

めざそう値

商業のにぎわい創出支援件数  
(年間)

H28(2016) 17件

H33(2021) 20件

## 関連データ

### ■中心市街地の通行量（平日）の推移

単位：人

年度	本通二丁目交差点		おび通り交差点		駅前通り交差点		本通五丁目 び〜ファイブ前※		合計	
	歩行者	自転車	歩行者	自転車	歩行者	自転車	歩行者	自転車	歩行者	自転車
H24	1,517	794	854	671	1,024	357	—	—	3,395	1,822
H25	1,950	570	1,464	639	1,218	171	326	224	4,958	1,604
H26	1,992	623	1,171	442	1,080	711	217	211	4,460	1,987
H27	1,985	731	1,281	559	1,072	199	282	253	4,620	1,742
H28	2,008	846	1,316	622	941	312	357	346	4,622	2,126

※「本通五丁目び〜ファイブ前」は東西のみの通行量を示しています。

#### 用語解説

2 【島田の逸品】島田市内で生産(又は企画)し販売されている産品の中から、市の魅力を日本、世界に発信するシンボリック的存在として認定した島田市が誇る産品

## 地域の特色を活かした農林業を進める（農業・林業）

### 基本的な施策の方向性

農林業従事者の高齢化や後継者の不足からくる担い手の減少、農林産物の価格低迷、荒廃農地・荒廃森林の拡大など地域農林業をとりまく状況が厳しさを増しています。

豊かな自然を背景に発展してきた歴史ある農林業を振興し継承するため、多様な担い手の育成と土地の有効活用、農林業の生産基盤整備を進めていきます。

また、農林産物の生産体制を向上し、供給体制を安定することで、地域の特性を活かした「稼ぐ農林業」を目指します。

### 施策と内容

#### 1. 次の世代へつながる生産体制を築きます

農林業を魅力あるものとし、意欲ある農林業者が安定的かつ継続的に経営できる環境を整備するとともに、新たな担い手の育成に力を注ぎます。

また、法人化の経営手法やICTの技術を取り入れるなど、農林業の新しいカタチにチャレンジする農林業者を支援します。

##### 主要な取り組みの事例

- 各地域の特色を活かした農林業の推進
- 認定農業者<sup>1</sup>やビジネス経営体<sup>2</sup>の育成、法人経営への誘導の促進など、多様な農業経営の担い手の確保
- 担い手への農地集積の促進
- 付加価値のあるお茶の栽培や売れるお茶の生産
- 基幹作物を茶とした複合経営への取り組みの推進

めざす値

認定農業者数（年度末時点）

H28(2016)  
391人

H33(2021)  
400人

#### 2. 農林業生産基盤の整備を推進します

農林業の生産性を向上させるため、農道や農業用排水路、農地の基盤整備、林道の路網整備を積極的に進めます。

##### 主要な取り組みの事例

- 農業施設及び土地改良施設<sup>3</sup>の計画的な整備・維持管理
- 茶改植等を進める農業者の支援
- 林業の生産性を向上させる機械設備の導入促進と間伐事業や林道・施業道の整備、治山事業による木材生産の振興
- 有害鳥獣対策の推進

めざす値

茶改植実施面積  
(H23年度からの累計)

H28(2016)  
35.62ha

H33(2021)  
70.0ha

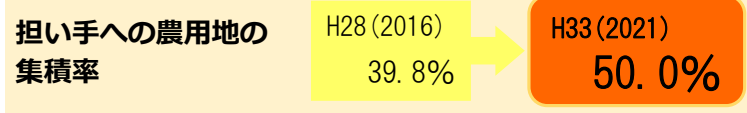
#### 用語解説

- 1【認定農業者】効率的かつ安定的な農業経営の育成を図るため、農業者が、市町村が定めた「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」に示された育成すべき農業経営を目指すため作成した農業経営改善計画を市町村長が認定した農業
- 2【ビジネス経営体】家族経営から脱皮し、企業の経営感覚で、地域の農業を牽引していける経営体
- 3【土地改良施設】農業用排水施設、農業用道路その他農用地を保全又は利用上必要な施設



# 政策分野3 経済・産業

## この柱のみんなだめぞそう値



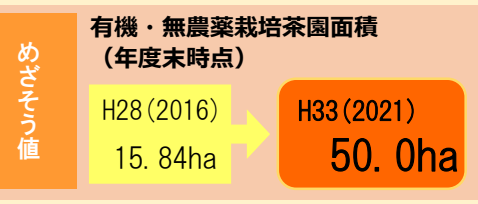
▲お茶刈り

### 3. 農林資源の魅力为全国へと発信します

地元の農林産物を活用した6次産業化を推進していく中で、新たな地域資源を生み出しながら、当市の知名度を高めていきます。  
また、当市の基幹作物で高い品質を持つ「お茶」については、「島田市緑茶化計画」<sup>4</sup>のプロモーションなどにより、活動を通じて認知度アップや消費・販路拡大に努めていきます。

#### 主要な取り組みの事例

- 販わい交流拠点への農林産物出荷販売等による農林業従事者の所得向上と地域農林業の活性化
- 島田茶、金谷茶、川根茶それぞれの特色を活かしたブランド化の推進
- 世界農業遺産「静岡の茶草場農法」の推進
- お茶の販売促進活動の国内外への展開
- 有機JAS<sup>5</sup>やFM森林認証<sup>6</sup>など、各種認証制度の取得支援
- 大井川産材の利活用と生産拡大



### 関連データ

#### ■農業経営体の用途別経営耕地面積の推移

単位: ha

年度	総面積	田	畑	茶園・果樹園
H17	2,785	549	50	2,186
H22	2,682	524	39	2,119
H27	2,455	443	62	1,950

出典：農林業センサス

#### 用語解説

4【島田市緑茶化計画】「お茶のまち島田」を市内外に発信するシティプロモーションの取り組み  
5【有機JAS】有機食品の検査認証制度のこと。農薬や化学肥料などの化学物質に頼らないで、自然界の力で生産された食品を表しており、農産物、加工食品、飼料及び畜産物に付けられる。  
6【FM森林認証】環境と経済を両立させた森林管理を第三者機関が評価・認定をする制度。効率的な森林経営の推進や安全管理の徹底など、世界水準の森林管理により、違法伐採等を防ぐことで、森林を保全する。

# 人と地域の魅力を伝える観光 施策を進める（観光）

## 基本的な施策の方向性

水と緑が織りなす豊かな自然環境に恵まれている当市は、旧東海道の宿場町として発展した歴史と文化を今に伝え、主産業のお茶に由来する「おもてなしの心」を大切に作る風土が根付くまちです。そして、新東名高速道路や富士山静岡空港といった国内各地、そして世界へとつながる高速交通基盤と、蓬莱橋や川根温泉、大井川鐵道のSLなど多彩で特色ある地域資源を兼ね備えた、ここにしかない魅力があふれるまちでもあります。

ここ島田を広く発信し、周辺地域との連携・運動により多くの人々が活発に交流する、にぎわいがあふれるまちづくりを進めます。

## 施策と内容

### 1. 観光情報を効果的に発信し、観光による地域の活性化を目指します

地域外から多くの人々が訪れるよう、魅力ある観光資源を効果的に情報発信するほか、新たな観光プログラムを構築し、関係団体との連携による「観光で稼ぐ」体制づくりを進めていきます。

#### 主要な取り組みの事例

- 効果的な観光情報の発信
- 新たな観光資源の創出と観光プログラムの構築
- 大井川流域の魅力発信と地域DMO<sup>1</sup>事業の推進
- 広域的な連携による観光施策の展開
- 特色あるイベントを通じた観光交流人口の拡大

めざまし値

市内観光地の認知度（市観光課ホームページへのアクセス件数）（年間）

H28(2016)

183,188件

H33(2021)

200,000件

## 関連データ

### ■観光ボランティアの状況

		島田市観光ボランティアガイドの会	かなや観光ボランティアの会	川根おもてなし人クラブ
会員数	男	10人	13人	17人
	女	11人	6人	3人
活動内容		市の観光振興・文化の発展及び地域の活性化	金谷地域の宣伝と観光施設等のガイド	川根地域内の観光案内

#### 用語解説

1 【地域DMO】地域が主体となって行う観光地域づくりの推進主体のことで、DMOは、Destination Management/Marketing Organizationの略

## この柱のみんなめでざそう値

観光交流客数（年間）

H28 (2016)  
2,372,870人

H33 (2021)  
3,000,000人

## 政策分野3 経済・産業



▲大名行列の大奴（島田大祭）



▲金谷茶まつり

## 2. 地域資源を活用した観光振興を図るとともに受け入れ態勢を強化します

歴史、文化、自然に由来する多彩な地域資源を活用した観光振興に努め、国内外の観光客を受け入れる体制を整備、充実します。

### 主要な取り組みの事例

- 高速交通網と鉄道網が交わることで生まれる交通乗換機能（モーダルコネクト）<sup>2</sup>がもたらす経済効果の大井川流域全体への波及
- 「蓬莱橋」周辺の基盤整備等による集客力の向上
- 当市の歴史、文化、自然に由来する多彩な地域資源を活用した観光振興
- 川根抜里・葛籠地区へのパラグライダーパークやキャンプ場の整備
- 観光施設、公共施設等を結ぶ観光周遊バス運行の検討

めでざそう値

蓬莱橋利用者数（年間）

H28 (2016)  
158,102人

H33 (2021)  
200,000人



▲蓬莱橋

### 用語解説

2 【交通乗換機能（モーダルコネクト）】道路ネットワークやその空間を有効に活用しながら、交通モード間の接続をする機能のこと



▲新東名高速道路島田金谷インターチェンジ周辺 賑わい交流拠点整備  
基本計画 施設イメージ図



▲鶺鴒山森林公園